



ラックスマン製 デジタルアンプ・キット「LXA-OT4」組み立てガイド

この度は、stereo × ONTOMO Shop 商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、このガイドを必ずご一読くださいますようお願いいたします。

安全上のご注意

(デジタルアンプ・キット「LXA-OT4」、付属 AC アダプター)

- 1) 付属 AC アダプターは日本国内専用です。日本国内以外では使用しないでください。
- 2) 組み立てが終わるまでは、絶対に AC アダプターを接続しないでください。
- 3) キット添付以外の部品は、ご使用にならないでください。
- 4) 必ずケースに入れた状態でご使用ください。ケースなしでのご使用は、事故や感電の危険があります。また、お子様の手に触れないようご注意ください。
- 5) 基板に水滴等の液体がかかると破損する恐れがあります。
- 6) 組み立てられたキットに対する保証はありません。
- 7) 付属 AC アダプターと電源コードは本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、付属の AC アダプター以外は使用しないでください。
- 8) 本機 DC IN 端子へのプラグ抜き差しは、必ず電源スイッチを切り、AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いた状態で行なってください。
- 9) 外出時や長期間ご使用にならない場合は、AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。

警告 (AC アダプター)

●本機の電源スイッチを切っても、電源からは完全に遮断されません。そのため、電源コンセントの近くに設置し、容易に AC アダプターの電源プラグを抜くことができるようにしてください。●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常のあった場合は、AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

キットの取扱いについて

お客様御自身がこのキットを製作され使用する場合は、部品選定や構造については、お客様が組み立てられても性能を満足するように考慮しています。組み立て上の注意をよく確認して安全な製品を製作されるよう、お願いいたします。

その他

- 1) 当ショップでの組み立てサービスなどは一切行っておりません。必ずご自身で完成させてください。
- 2) コンデンサー等の交換・改造につきましては自己責任で行なってください。交換・改造による故障や損害については対応いたしかねます。
- 3) 初期不良による交換期限はご購入から1年間とさせていただきます。

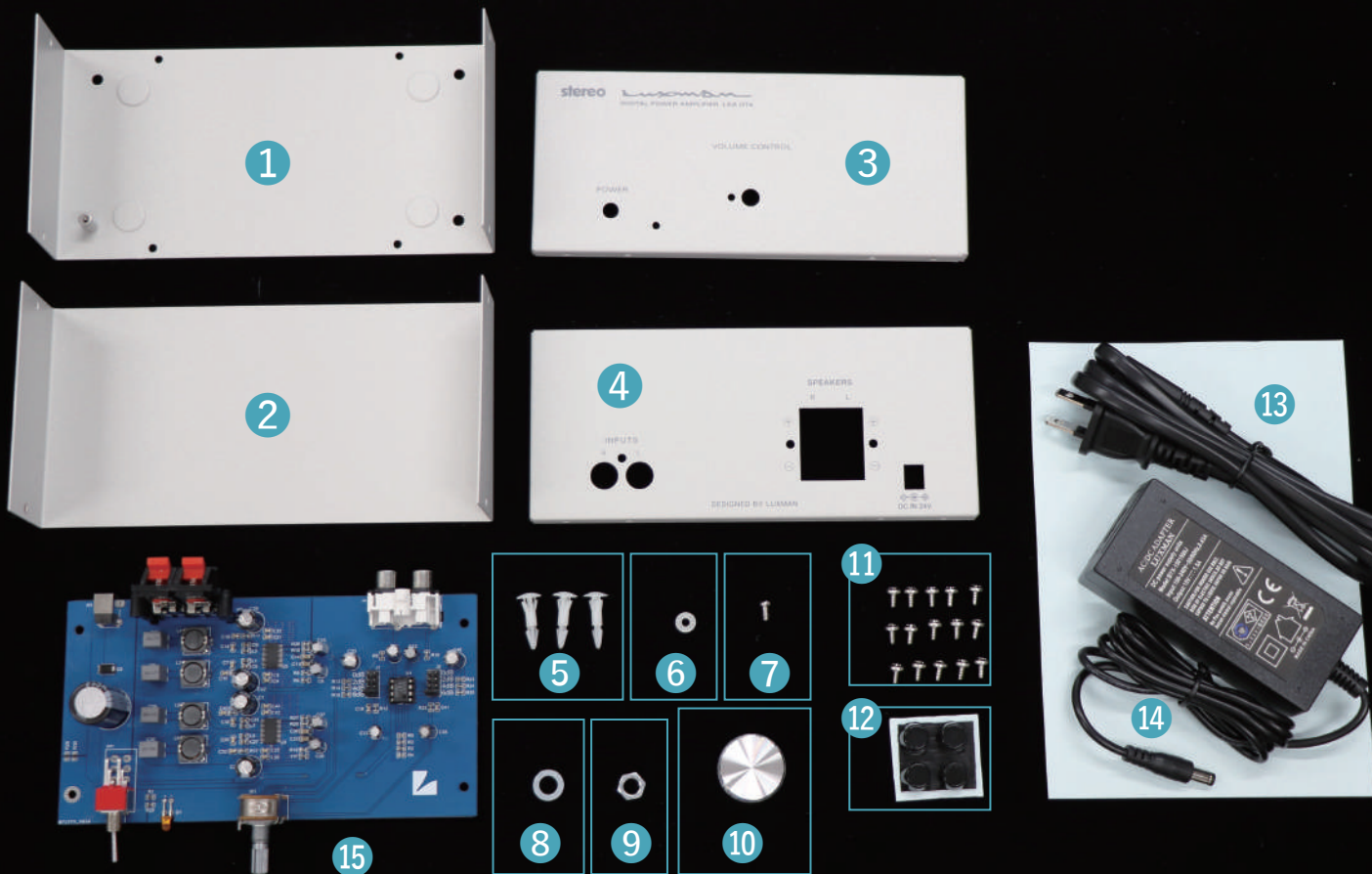
問い合わせ先：ONTOMO Shop サポートセンター
MAIL: ontomo-shop@ongakunotomo.co.jp
受付時間：平日 11:00 ~ 17:00
(時間帯によっては不在にしていることがあります)

MN-0055

[取説] ラックスマン製 デジタル
アンプ・キット「LXA-OT4」



2946000007121



デジタルアンプ・キット「LXA-OT4」を組み立てる

お送りしております箱の中には、上の写真の部品が入っています。
組立ての前に、すべての部品が揃っているか必ずご確認ください。

※ネジ類など小さな部品も多数ございますので、取り出しの際に紛失しないようご注意ください。

- ① シャーシ（底板）
- ② シャーシ（天板）
- ③ シャーシ（フロントパネル）
- ④ シャーシ（リアパネル）

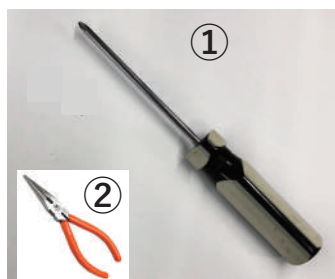
- ⑬ 電源コード
- ⑭ AC アダプター
- ⑮ 完成基板

小分け袋内

- ⑤ 基板固定用リベット（3個）
- ⑥ 基板上アース用ワッシャー（1個）
- ⑦ 基板上アース用ネジ（1個）
- ⑧ ワッシャー（1個）
- ⑨ 六角ナット（1個）
- ⑩ ボリュームつまみ
- ⑪ ネジ（15本）（シャーシおよび端子類固定用）
- ⑫ ゴム脚（1セット（4個））

※上記の写真では分かりやすいように水色の紙を下に敷いて撮影しています

お客様ご自身でご用意いただくもの



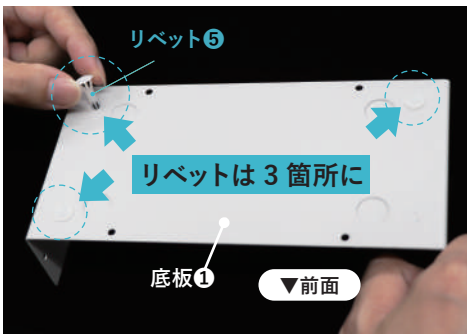
① プラスドライバー

100円ショップなどで販売しているドライバーでは、刃先が潰れる可能性があります。ホームセンターなどで販売されている、刃先がしっかりした力の入れやすいドライバーをご用意ください。なお、本キットは、ネジでシャーシに溝を切っていくタッピングネジを採用しています。最初はネジの進行方向に体重をかけて力を加えながらじっくりと回して締めてください。右に回して締め、堅くなった後少し左に回して緩めてから、再度右に回して締め込む動作を繰り返すとうまく締めることができます。（右図参照）

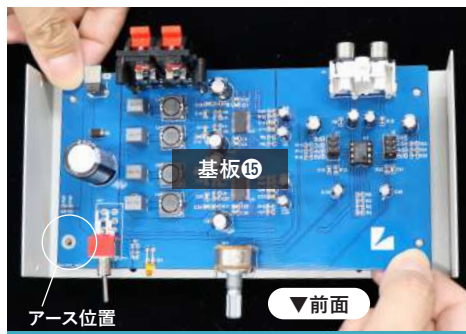
② ラジオペンチ または レンチ



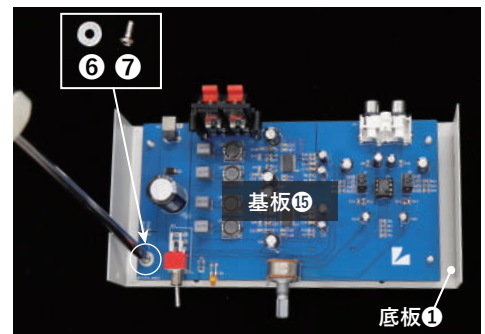
タッピングネジの締め方



1 シャーシ底板①の下から、固定用リベット⑤を3ヶ所、カチッと音がするまで奥に差し込む



2 完成基板⑬をリベット⑤に差し込んで固定する。前面から見て左手前側はアースとなるので、向きに注意



3 シャーシ底板①と完成基板⑬とをアース用ワッシャー⑥とアース用ネジ⑦で締める

※ネジ⑦と⑩は別物です。お間違いないようご注意ください



4 シャーシ（リアパネル）④と底板①とをRCA端子・スピーカー端子・電源端子の位置を合わせながら4ヶ所（側面2点と底面2点）をネジ⑪で締める（側面2点のネジは仮締めしておく）



5 RCA端子とリアパネルをシャーシの内側から押さえながらネジ⑪で締める

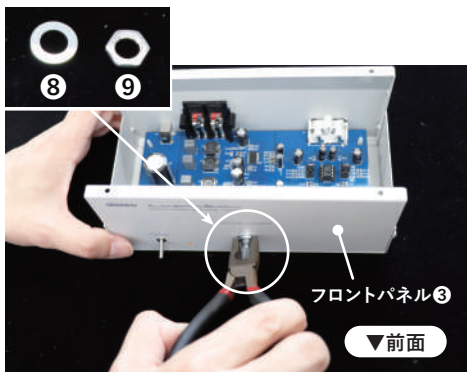
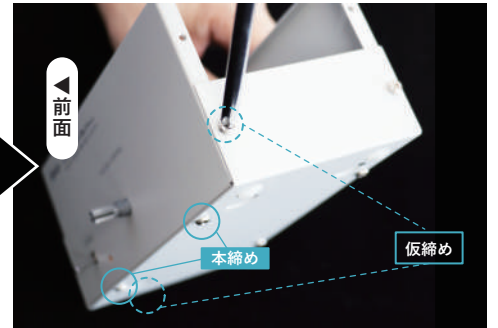


6 基板上のスピーカー端子をシャーシの内側から押さえながらネジ⑪で締める

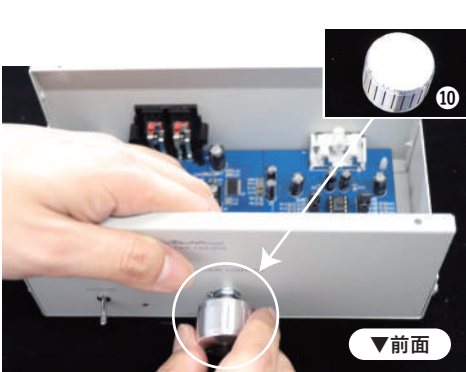


7 シャーシ（フロントパネル）③と底板①とをボリューム・スイッチの位置を合わせながら4ヶ所（側面2点と底面2点）をネジ⑪で締める（側面2点のネジは仮締めしておく）

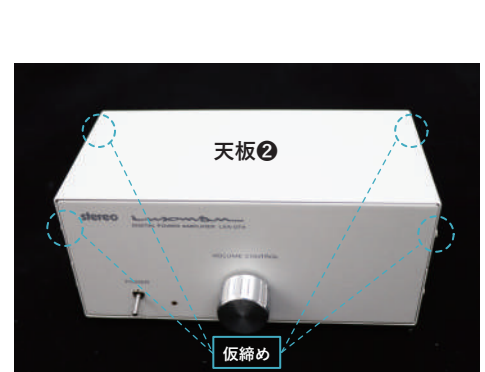
※この作業の際にシャーシでボリュームを折ることがないように充分気を付けて作業にあってください



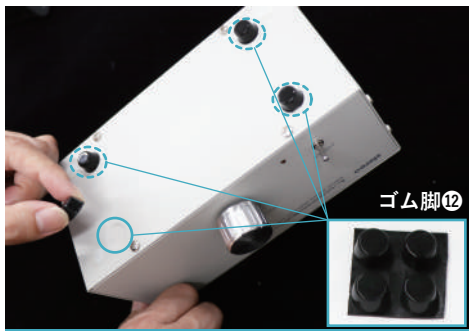
8 フロントパネルから出たボリュームにワッシャー⑧、ナット⑨の順に入れ、ラジオペンチなどで締める



9 ボリュームつまみ⑩を角度を見ながらちょうどいい位置で押し込む



10 シャーシ天板②を被せ、側面4ヶ所をネジ⑪で仮締めする

**11**

シャーシ底板①の窪みに合わせて、ゴム脚⑫を4ヶ所貼り付ける

**12**

シャーシ固定ネジをすべて本締めし、ACアダプターのDCプラグをつないだら完成

**13**

電源コード⑬とACアダプター⑭を差し込む

※電源プラグはすべての入出力の接続が終わってからコンセントに接続します

デジタルアンプ・キット「LXA-OT4」操作について

● 操作する前に

1. 接続が確実にこなわれているか確認してください。(L,Rや+,-の接続に誤りがあると正常な再生ができません。)

なお、本機に接続されるスピーカーシステムは、4Ω～16Ωのインピーダンスのものがご使用になれます。

すべての接続が終わってから、ACアダプターの電源プラグをコンセントに接続します。
2. 電源オン/オフ時は、ボリューム・コントロールを最小にしてから行なってください。

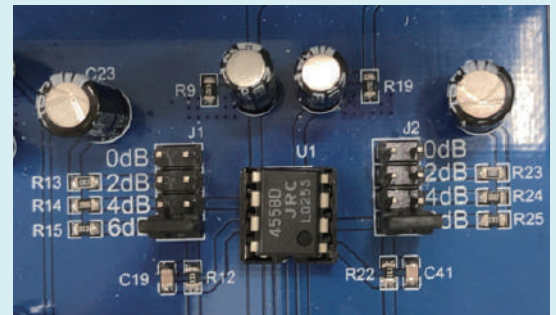
● 再生の手順

1. ボリューム・コントロールの音量が下がっていることを確認し、電源スイッチを上げてオンにします。オンで電源LED(橙)が点灯します。
2. 再生するソースを再生します。
3. 音量をボリューム・コントロールで調節します。

● ゲイン切り替えについて

本機は基板内部のJP (ジャンパー) 設定で、入力段オペアンプのゲイン (利得) を切り替えることができます。基板のピン端子を、JP ソケットで接続することで切り替えます。(写真の状態は、左右 [J1] と [J2] とともに 6dB に設定した場合です。) ゲイン変更する場合は、必ず電源オフでACアダプターの電源プラグも抜いてから行なってください。

1. JP ソケットを上には抜いて外す
2. 設定したいゲインのピン端子 (左右 2ピン) に JP ソケットを挿入する
 - ・ 1ピンだけで回転しないか、正しく挿入されているかを確認してください。
 - ・ 左右は基本的に等しく設定しますが、左右のバランスを調節したい場合には異なった値に設定することもできます。



アンプ全体のゲインは、このJP設定で次のようになります。

- ・ 0dB : アンプ総合利得 20dB
- ・ 2dB : アンプ総合利得 22dB
- ・ 4dB : アンプ総合利得 24dB
- ・ 6dB : アンプ総合利得 26dB (基板出荷設定)

● 使用上のご注意

1. BTL (Balanced Transformer Less) アンプ、スピーカー接続上のご注意

- ・ 本機はBTLアンプであり、スピーカー出力の⊖端子にも⊕端子と逆相の信号が出力されています。また、⊕、⊖端子ともに同じ直流電圧 (約 DC12V) が重畳されています。
- ・ 単体のスピーカーシステムに⊕と⊖を正しく接続して使用する場合は問題ありませんが、スピーカー切り替えスイッチボックスなどへの接続はアンプの出力が短絡し過大電流が流れ、保護回路が動作し故障の原因になりますので、使用しないでください。
- ・ また、スピーカー端子形接続入力のパワーアンプ内蔵サブウーハーなども同様の理由で故障の原因になりますので、接続しないでください。

2. 保護回路について

- ・ 本機には、アンプやスピーカー保護のため、過電流、異常温度、入力直流検出などの保護回路を内蔵しています。
 - ・ 保護回路が動作した場合、スピーカー端子への出力を遮断します。
- このような場合、一旦電源スイッチを切り、入出力の接続、スピーカー配線でのショートが無い確認してから、再度電源をオンにしてください。
- (異常温度保護の場合、温度が下がるまで数十分程度かかります。)
- ・ ACアダプターの過電流保護の場合は、アダプター本体のLED (緑) が消えて電源出力を遮断します。この場合も、一旦本体の電源スイッチを切りACアダプターの電源プラグをコンセントから外し、本体に異常が無い確認をしてください。
 - ・ 再度保護回路が動作する場合は、故障も考えられますので使用を中止し、ACアダプターの電源プラグもコンセントから外してください。